

第4群(活動報告)

大規模災害時における事務所機能移転を踏まえた初動対応訓練

発表者(筆頭者)所属・氏名 仙台保健福祉事務所 主事 小松みか

キーワード:災害, 初動対応訓練, アクションカード, 東日本大震災

I はじめに・方法

当事務所は、東日本大震災時、津波により事務所の1階部分が浸水し、公用車の半数が流出してしまうなど、活動拠点と機動力を失った。大規模災害時に保健福祉事務所(保健所)としての役割を果たすためには、職員及び来庁者の安全を確保しながら、迅速に事務所機能を移転させるなどの初動対応が必要になることから、発災時に必要となる行動を明確かつ具体的に記載した「アクションカード」を作成するとともに、これを使用した初動対応訓練を実施したので報告する。

II 活動内容

1 対応策の検討とアクションカードの作成

- 平成29年度に事務所機能を移転させるためのマニュアルを作成したものの、災害は必ずしも主要な職員が揃った状況で起こるものではなく、たまたま居合わせた職員が対応することを想定するべきであり、①発災時に職員が果たす役割、②当該役割ごとに行うべき行動について、あらかじめ具体的かつ明確に定めておく必要があることが分かった。
- 発災時における職員の役割と行動をあらかじめ明確かつ具体的に記載した「アクションカード」の作成に当たっては、ごく短時間で直観的にわかるように、文章だけでなく図解(イラスト)、写真等を多用するなど工夫し作成した。
- 特に、本部長用の「アクションカード」は、誰が本部長になっても対応できるよう、その役割と行動を一覧表にして手順が分かるように工夫した。

2 訓練の実施

- 実際の訓練では、午前の部「代替庁舎への移動」と午後の部「対策本部の設営」の2部構成で実施し、より多くの職員が参加できるように工夫した。
- 所長以下の管理職も訓練に参加し、訓練中は、参加者の様子をチェックしてもらい、終了後は管理職から助言をもらうことができた。また、参加者には改善に向けてのアンケートを実施した。

3 訓練実施の結果に基づく改善策の検討

- アンケート及び訓練実施後の反省会で出された意見について、すべてエクセル表に整理し、項目ごとに分類した上で1つずつ改善策を検討した。
- その結果をアクションカードに反映し、今後の訓練に活かしていく。

III 考察

- 1 アクションカードに図解、写真を多用することにより、参加者の各担当ごとの業務に対する理解度は比較的高かったものの、業務相互の関連性については、実際に訓練を経験しないと理解が難しいことが分かった。インプットした知識を実際に運用できるものにするためには、アウトプット(=訓練への参加)が不可欠であり、今後も訓練を継続的に実施していく必要がある。
- 2 訓練実施後のアンケートでは、アクションカードや訓練の改善に向け、延べ100件を越える意見や提案を受けた。この意見や提案をアクションカード等の改善に反映させ、職員が主体的に訓練に参画できる環境づくりを更に進めていく必要がある。
- 3 およそ30分という短い時間ではあったが、濃密な訓練を行うことにより、十分な効果を得ることができ、また、職員の意識向上にもつながった。このことから、今回の初動対応訓練は、災害に限らず平時の業務を含めた危機管理能力の向上にも生かされるものと思われた。

IV おわりに

今回は、大規模災害時には事務所移転が必要になるという当事務所の特殊性から、他の事務所では経験できない訓練を実施することができた。その中でもアクションカードの工夫、訓練後の検討項目の分析等については、他の事務所における災害時を想定した訓練などにおいても参考にさせていただけるものと考えている。